

『PCA hyper 固定資産シリーズ』

Ver.1.0 Rev.6.18プログラムでの主な機能強化・仕様変更点

KDH0810

主な機能強化・仕様変更点は以下の通りです。

操作等の詳細については、オンラインヘルプ、またはPDFマニュアルをご覧ください。

《インボイス対応》

令和5年10月1日より始まるインボイス制度へ対応しました。

免税事業者等からの課税仕入れの経理方法については、入力時に自動計算のみ対応します。

導入編マニュアル「インボイス制度への対応について」もご確認ください。

◇取引先の登録

- 適格請求書発行事業者の情報を入力、表示できるようにしました。
- 取引先名から法人番号検索ダイアログを呼び出せるようにしました。
ダイアログからこちらの情報を反映できます。
→取引先名、事業者登録番号、郵便番号、住所
- 事業者登録番号が正しいかどうか、国税庁のサイトにアクセスして確認できます。

◇マスター確認リスト

取引先にて、追加項目の出力に対応しました。

◇資産の登録 - 一般資産、一括償却資産、少額資産

- インボイス対応税区分を使用した消費税計算に対応しました。
- 基本(1)タブで指定された仕入先の事業者区分に応じて、税区分を変更します。
それに伴い、取得価額や消費税を補正します。

◇資産の登録 - リース資産

- インボイス対応税区分を使用した消費税計算に対応しました。
- 基本(1)タブで指定された仕入先の事業者区分に応じて、仕入先事業者区分を変更します。それに伴い、基本支払リース料、維持管理費、それぞれの消費税額を補正します。
- 消費税分割控除のリース資産を対象に、インボイス制度適用/非適用に伴う支払額の変更に対応しました。たとえばインボイス制度開始前に契約済だが仕入先事業者区分が非適格の場合に、仕入先事業者区分を変更することで支払額を変更します。

◇資産の一覧入力

- 資産の登録処理と同様の対応を行いました。
- 一括変更機能を利用することにより、事業者区分に応じて一括で変更することが可能です。
取引先、税区分、仕入先事業者区分、など。

◇データの保守

- リース資産 仕入先事業者区分の一括変更機能を用意しました。複数の「消費税分割控除となるリース資産」を対象に仕入先事業者区分を変更することで、インボイス制度適用/非適用となる資産に対して支払額の変更も一括で行えます。

◇資産確認リスト

- リース資産 - リース情報の契約情報(1)
消費税率の表示に対応します。(例：10% → 10% (控除80%))

◇固定資産台帳（一）

- パターン設定で配置できる項目に「税区分」を追加しました。
- 並び順に「税区分」を追加しました。税区分を並び順に使用することにより、取引先に応じた税区分、事業者区分が正しく適用されているかの確認にご利用いただけます。

◇リース資産一覧

- 消費税率に経過措置割合を表示するようにしました。
- 並び順に「消費税率」を追加しました。消費税率を並び順に使用することにより、取引先に応じた税区分、事業者区分が正しく適用されているかの確認にご利用いただけます。

◇汎用データの作成・受入

- 取引先
 - 追加項目の作成・受入に対応しました。
 - 「登録済のデータを受入する」をチェックすることにより、既存データに上書で受入できるようにしました。「事業者登録番号」のみ一括で登録する、といった使い方が可能となりました。
- 一般資産、一括償却資産、少額資産
 - 「インボイス制度に伴う取得価額の補正を行う」機能を追加しました。チェックして受入することにより、インボイス対応税区分を使用した消費税計算を行い、取得価額と消費税額を補正して受入します。
- リース資産
 - 「インボイス制度に伴う支払額の補正を行う」機能を追加しました。チェックして受入することにより、インボイス対応税区分を使用した消費税計算を行い、基本支払リース料、維持管理費、それぞれの消費税額を補正して受入します。

◇仕訳データの作成

- 支払科目の補助科目を取引先の事業者登録番号から設定できるようになりました。資産に設定された取引先と事業者登録番号が一致する補助科目を、仕訳に設定します。こちらの条件を満たす場合のみ利用できます。
 - 補助で適格請求発行事業者情報を管理している会計製品※と連動している。
 - 読込連動方式が「直接連動」

※ 補助で適格請求発行事業者情報を管理している会計製品

- PCA 会計シリーズバージョンDX
- PCA 医療法人会計シリーズバージョンDX
- PCA 社会福祉法人会計シリーズバージョンDX
- PCA 公益法人会計シリーズバージョンDX

- 摘要出力設定に「経過措置を適用する旨」を追加しました。

◇グループ固定資産台帳（一）

- パターン設定で配置できる項目に「税区分」を追加しました。
- 並び順に「税区分」を追加しました。

《全体》

◇ メンテナンス終了した製品を除外しました。

- データ領域の作成時のテンプレートの種類
- 会計連動
会計連動済みの場合は、後継製品へ連動先が切り替わります。

※ 除外対象の製品

- PCA 会計シリーズ バージョンX
- PCA 医療法人会計シリーズ
- PCA 建設業会計シリーズ
- PCA 社会福祉法人会計シリーズ
- PCA 公益法人会計シリーズ

《資産》

◇ 資産の登録

遊休を新規追加する際に、初期値を設定できるようになりました。

互換性に関する変更点

《データ領域の更新について》

データ領域のバージョンを「6.12」に更新しました。

下記のデータ構造を拡張しました。

- 会社基本情報
- 取引先
- 税区分
- 資産(固定)
- 資産(リース)
- 会計連動設定
- 補助(会計連動用)
- 取引先(会計連動用)

《APIの変更について》

以下のデータ構造を拡張したため、バージョンを更新しました。

- 取引先 (バージョン「2」)
- 税区分 (バージョン「103」)
- 資産 (バージョン「110」)
- 会計連動設定 (バージョン「3」)
- 仕訳伝票データの集計条件 (バージョン「3」)

《汎用データの変更について》

以下のデータ構造を拡張したため、バージョンを更新しました。

- 取引先 (バージョン「2」)
- リース資産 (バージョン「14」)